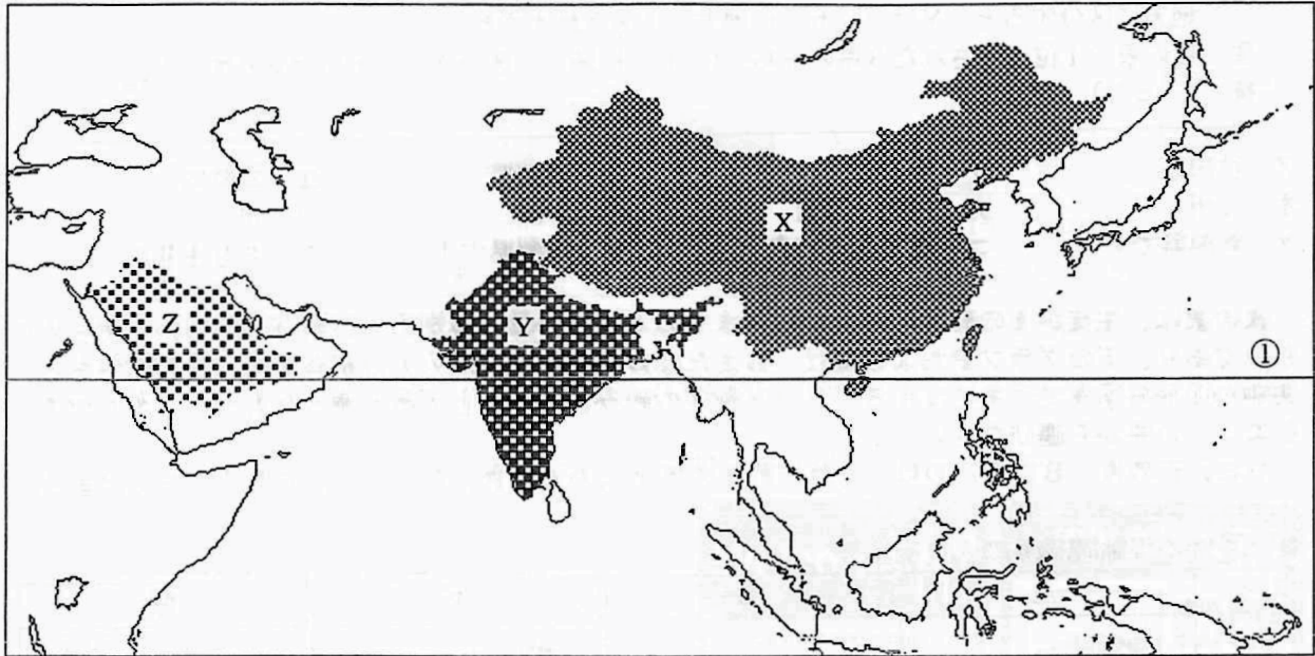


4 次のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの資料は、生徒がアジア州の国について発表を行うために用意したものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

なお、Ⅰの略地図は緯線の間隔が等しい図法で描かれたものであり、Ⅰの略地図中のX、Y、ZおよびⅡの資料中のA、B、Cは、それぞれインド、サウジアラビア、中国のいずれかである。

Ⅰ 略地図



Ⅱ 3国の国土面積に対する森林面積の割合等

国名	国土面積に対する 森林面積の割合(%)	首都の1月と7月の平均気温(℃)		年間の国民一人あたりの 二酸化炭素排出量(t)
		1月	7月	
A	24.3	13.9	31.5	1.58
B	23.4	- 2.8	27.2	7.76
C	0.5	14.6	36.9	14.27

(「データブック オブ・ザ・ワールド 2024年版」などをもとに作成)

A：インド
B：中国

(2) Ⅱの資料は、Ⅰの略地図中のX、Y、Zにおける国土面積に対する森林面積の割合、首都の1月と7月の平均気温、年間の国民一人あたりの二酸化炭素排出量をまとめたもので、ⅡのA、B、CはそれぞれX、Y、Zのいずれかである。A、B、CとX、Y、Zを組み合わせたものとして最も適当なものを、次のアからカまでの中から選びなさい。

国名	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A	X	X	Y	Y	Z	Z
B	Y	Z	X	Z	X	Y
C	Z	Y	Z	X	Y	X

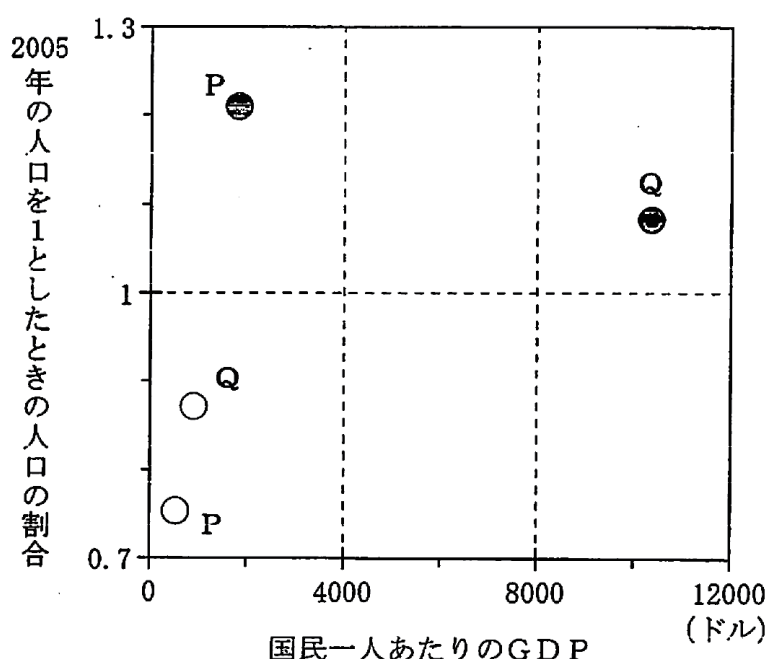
- (4) 次の文章は、中国とインドの人口や経済についての生徒と先生の会話の一部である。また、下のグラフは、中国とインドの1990年と2020年における、国民一人あたりのGDPと2005年の人口を1としたときの人口の割合をまとめたもので、P、Qは中国、インドのいずれか、●、○は1990年、2020年のいずれかである。文章を読み、P、Q、●、○と国名、年代の組み合わせとして最も適当なものを、あとのアからエまでのの中から選びなさい。

生徒：中国とインドは、どちらも人口が多い国ですね。

先生：どちらも人口は10億人を超えています。中国では少子化が進んでいるのに対し、インドの人口は中国を抜いて2023年ごろに世界第1位になったといわれています。

生徒：そうなんですね。また、どちらの国も工業化が進んでいますね。

先生：はい。1980年代から改革が進められた中国は、経済成長を遂げ、「世界の工場」とよばれるようになりました。



	ア	イ	ウ	エ
P	中国	中国	インド	インド
Q	インド	インド	中国	中国
●	1990年	2020年	1990年	2020年
○	2020年	1990年	2020年	1990年

(注) 国民一人あたりのGDPは、2015年のドルに換算した値である。

(「World Development Indicators」をもとに作成)

4 次の文章は、先生と生徒が日本と世界の国々について話し合った際の会話の一部であり、ⅠからⅢまでの資料は、文章中に出てくる国々に関する統計である。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

Ⅰ 日本とBRICS各国の気候等

	首都の 7月の気温 (℃)	首都の 7月の降水量 (mm)	国土面積に占める 森林の割合 (%) (2020年)	主な輸出品(2021年)
日本	25.7	156.2	66.0	機械類、自動車、精密機器
A	南アフリカ 12.3	0.6	14.0	白金族、自動車、鉄鉱石
B	インド 31.5	197.2	22.0	石油製品、機械類、ダイヤモンド
C	ブラジル 19.5	1.6	58.3	鉄鉱石、大豆、原油
D	中国 27.2	170.6	23.0	機械類、衣類、繊維品
E	19.7	83.8	47.7	原油、石油製品、鉄鋼

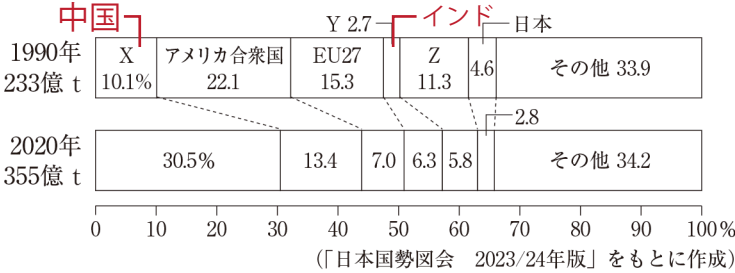
(「世界国勢図会 2023/24年版」「理科年表 2024年版」をもとに作成)

Ⅱ 3国の国内総生産(GDP)の推移
(億ドル)

	2010年	2020年
X	中国 60 872	146 877
Y	インド 16 696	26 722
Z	15 398	14 894

(「世界国勢図会 2023/24年版」をもとに作成)

Ⅲ 主要な国々の二酸化炭素の排出量割合の推移



(「日本国勢図会 2023/24年版」をもとに作成)

(1) 上の会話文中の(①)にあてはまることばとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選
びなさい。また、Ⅰの資料中のA、Cにあてはまる国として最も適当なものを、次のaからeまでの中
からそれぞれ選びなさい。

- ア 南アメリカ イ 北アメリカ ウ オセアニア エ アジア
- a ロシア b ブラジル c 中国 d インド e 南アフリカ共和国

(2) Ⅱ、Ⅲの資料は、生徒たちが授業の後に各国の国内総生産(GDP)の推移と二酸化炭素の排出量割合
の推移を調べ、まとめたものである。Ⅱ、Ⅲの資料中のX、Y、Zには中国、インド、ロシアのいずれ
かがあてはまる。インドと中国にあたるものの組み合わせとして最も適当なものを、次のアからカまで
の中から選びなさい。

- ア インド：X 中国：Y イ インド：X 中国：Z **ウ** インド：Y 中国：X
- エ インド：Y 中国：Z オ インド：Z 中国：X カ インド：Z 中国：Y